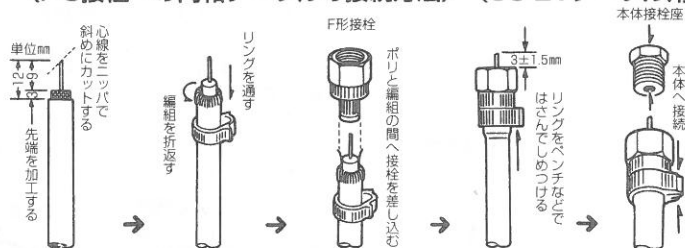


同軸ケーブルの接続方法

〈F-5接栓への同軸ケーブルの接続方法〉(5C-2Vケーブル用)



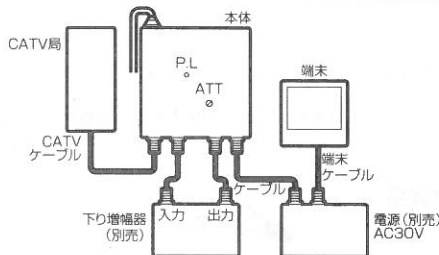
- 同軸ケーブルの先端を加工する場合、心線・編組に傷をつけますと、断線の原因になりますからご注意ください。また心線と編組は、絶対に接触しないようご注意ください。
- 接栓を取り付けた同軸ケーブルの心線は、曲がっていないかを確認し、曲げないように接続してください。
- 設置した後で抜いたりしないように、同軸ケーブルのリングをしっかりと締めてください。
- 入出力端子へのF形接栓の接続は、接続ナットを200N・cmで締め付けてください(200N・cm以上では締め付けしないでください)。

規格特性

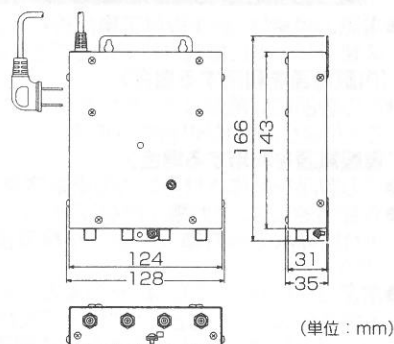
品 名	CATV接続用上り帯域増幅器	
品 番	RWB-101	
使用周波数 (MHz)	5~55	70~1335
利 得 (dB)	33~37	-5以内
入力アッテネータ (dB)	0~10以上	-
定 格 出 力 (dBμ)	115(データ1波時120)	-
雑 音 指 数 (dB)	10以下	-
入 出 力 V S W R	2.5以下	
相 互 変 調 (dB)	-60以下	-
ハ ム 変 調 (dB)	-60以下	-
入出力インピーダンス (Ω)	75	
耐 雷 性 (kV)	入出力端子 ±10 電源端子 ±15 (1.2/50μs)	
使用温度範囲 (°C)	-10~+40	
電 源 ・ 消 費 電 力	AC100V/5.2W, AC30V/6.5VA (下り出力・上り入力端子重畳)	
外 形 寸 法 (mm)	166 (H) × 128 (W) × 35 (D)	
質 量 (kg)	0.93	

※規格は改良により、変更させていただくことがありますのであらかじめご了承ください。

使用例



外形寸法図



(単位: mm)

取扱説明書

このたびはDXアンテナ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

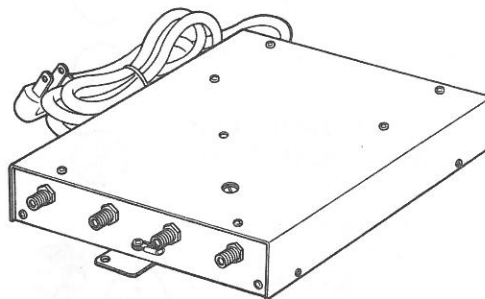
DX ANTENNA
DX ANTENNA CO., LTD.

DXアンテナの製品を正しく理解し、ご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。

CATV接続用上り帯域増幅器 RWB-101

製品の特長

- 既存のCATV下り、BS-IF伝送施設に上り帯域 (5~55MHz) を容易に追加することができます。
- 0~10dBの連続可変の入力ATTボリュームを内蔵しています。
- 下り帯域パス回路の採用で双方向システムに使用できます。
- 増幅器の小形・高性能化を実現し、取り扱いもスムーズです。
- 電源は、AC100V、AC30V(下り出力・上り入力端子重畳) どちらでも使用できます。



安全上のご注意

- ⚠ △記号は注意 (危険・警告を含む) を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容 (左図の場合は警告または注意) が描かれています。
- 🚫 ⊗記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容 (左図の場合は分解禁止) が描かれています。
- 🔌 ●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容 (左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください) が描かれています。

警告 この内容が無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- テレビ受信関連工事には技術と経験が必要ですので、お買い上げの販売店もしくは工事店にご相談ください。
- 表示された電源電圧 (AC100Vまたは、AC30V) 以外の電圧で使用しないでください。火災や感電の原因となります。
- この製品は屋内専用です。屋外で使用したり、風呂場や洗い場など水がかかる場所や、水などの入った容器の近くなどで使用しないでください。火災や感電の原因となります。



DXアンテナ株式会社

本社/〒652-0807 神戸市兵庫区浜崎通2番15号 TEL: (078) 682-0001 (代) 東京支社/〒160-0022 東京都新宿区新宿2丁目11番4号 長崎支社/〒850-0011 長崎県長崎市本町1丁目3番3号 TEL: (095) 334-1044 (代)

●この製品に接続する同軸ケーブルには電源が流れることがありますので、途中には通電形機器以外は絶対に挿入しないでください。また、通電形機器を挿入する場合は通電端子をよく確かめてお使いください。もし、非通電形機器を挿入しますと、回路やケーブルがショートして、火災や感電の原因となります。



●この製品に接続する同軸ケーブルには電流が流れることがありますので、同軸ケーブルの接続や接栓加工などで、心線と編組をショートさせたり、同軸ケーブルを傷つけたりしないようにしてください。火災や感電の原因となります。



●万一、内部に水などが入った場合は、まずこの製品の電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店もしくは工事店にご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。



●この製品を換気扇や湯沸器のそばなど高温になる場所、油煙や湯気が当たるような場所には設置しないでください。燃えたり、変形したりして、火災や破損の原因となります。



●不安定な場所、高所など足場の悪い場所に設置しないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



●この製品の内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだりしないでください。火災や感電の原因となります。



●この製品のケースを開けたり、分解したりしないでください。また、お客様による修理や改造はしないでください。感電やけがの原因となりますし、性能維持ができなくなり、故障の原因となります。



●万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐにこの製品の電源プラグをコンセントから抜いてください。煙がでなくなるのを確認して販売店もしくは工事店に修理をご依頼ください。



●この製品の本体を直径1.6ミリメートルの銅線で接地してください。感電や故障の原因となります。



●雷が鳴り出したら、この製品には触れないでください。感電の原因となります。



⚠ 注意 この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

●電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っばるとコードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。



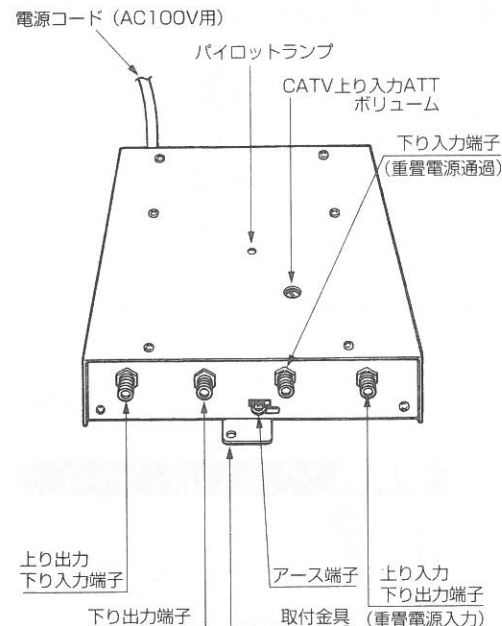
●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



お取扱いの前に

- 取付作業は、この取扱説明書をよくお読みのうえで行なってください。
- 増幅器を落としたり、ぶつけたり、無理な力を加えることのないよう注意してください。
- 電源供給は、すべての同軸ケーブルが完全に接続されていることを確認した後、行なってください。
- この増幅器を上り入力・下り出力端子からのAC30V重畳電源（別売）で使用する場合、増幅器と電源部を結ぶ同軸ケーブルに電流が流れています。途中に通電形機器以外は絶対に挿入しないでください。また同軸ケーブルの先端加工は心線と編組がショートしないよう注意して行なってください。火災や感電の原因となります。
- 使用時、異常が生じた場合は、ただちに電源の供給を止め、原因を確かめてください。

各部の名称

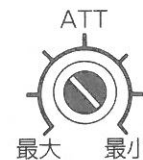


付属品



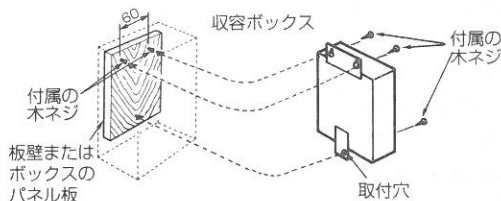
調整方法

1. 上り帯域を調整する前にスペクトラムアナライザなどで入力レベルを測定し、異常のないことを確認してください。
 2. スペクトラムアナライザなどを出力端子に接続してください。
 3. 全帯域のレベルを測定し、定格出力レベルに平均的に近づくように入力ATTボリュームで調整してください。
- ボリュームは反時計方向いっぱい回しきった時、減衰量最大となります。(0～10dB連続可変)
 - ※ 出荷時の設定はCATV入力ATT最小となっています。



取付方法

- 付属の木ネジ3本で図のようにしっかりと木板に取り付けてください。



電源の供給

- 電源の供給は、必ず取付工事が終わって、すべてのケーブルが正確に接続されていることとアース端子が大地に接続されていることを確認してから行なってください。
- ＜内蔵電源を利用する場合＞
- この製品には電源スイッチがありません。電源コードのプラグをAC100Vコンセントに差し込むことにより、電源が供給されます。
- ＜重畳電源を利用する場合＞
- この製品を動作させるための重畳電源を供給できる端子は上り入力・下り出力端子のみです。
 - 外部電源には、出力電圧がAC26～30Vの範囲内のものを使用してください。また、この製品と下り増幅器の消費電流の合計が電源装置の定格2次電流の規格を越えないように注意してください。
 - 電源コードのプラグには、そのままでも重畳電源が流れることはありませんが、工事のじやまになる場合にはニップなどで切り取ってください。このとき電源コードのプラグがAC100Vコンセントに差し込まれていないことを必ず確認してください。
 - 内蔵電源(AC100V)で動作中に、出力端子から重畳電源(AC30V)を供給すると、わずかな電圧差によってどちらかの電源で動作します。故障することはありませんが、内蔵、重畳どちらか一方の電源で動作させてください。

使用上のご注意

- 重畳電源を利用する場合において、上り入力・下り出力端子から電源が供給されている時は、上り入力・下り出力端子と下り入力端子の端子間には電流が流れますので下り増幅器には通電形機器以外は絶対に接続しないでください。
- ブースタ本体を直径1.6ミリメートル以上の銅線で大地に接続してください。